

『国際経営論集』投稿規定

1. 投稿資格者

本誌への投稿資格者は、つぎの各号のいずれかに該当する者に限る。

- (1) 本学部専任教員および特任教員
- (2) 本学部非常勤教員
- (3) 神奈川大学大学院経営学研究科博士後期課程に在籍する者または修了した者で、本学部専任の指導教員等との共同執筆になる論文を提出する者
- (4) その他『国際経営論集』編集委員会（以下、編集委員会と略記）が認めた者

2. 論文等の種類

投稿原稿は原則として未発表のものに限る。その種類はつぎの各号のいずれかとする。

- (1) 研究論文
- (2) 研究ノート
- (3) 資料紹介
- (4) 書評および文献解題
- (5) 翻訳
- (6) その他

3. 投稿原稿の編集

投稿原稿の採録については本規定にもとづき編集委員会が決定する。また編集委員会が必要と認めた場合、投稿された原稿の形式について投稿者に修正を求めることができるものとする。

4. 発行回数

年2回とする。

5. 論文等の枚数

(1) 研究論文

和文の場合は400字詰め原稿用紙換算で30枚(12,000文字)以上80枚(32,000文字)以下とし、この上限枚数を超えた場合は規定内に収まるよう改稿を求めることとする。

欧文等の場合は4,000 words以上を研究論文の目安とする。

(2) 研究ノート

400字詰め原稿用紙換算で50枚(20,000文字)以下とする。

(3) その他

第2項の(3)～(6)号の枚数については研究ノートに準じるものとする。

6. 研究論文等の投稿

(1) 原稿の書式

投稿原稿はワードプロセッサによる横書き原稿を原則とし、その書式はA4版1枚当たり1行40文字、30行、計1,200文字(1段組)とする。欧文等の場合はsingle spaceとする。

- (2) 図表、写真等は、1図表または1葉を400文字と換算して規定の原稿枚数に含める。
- (3) 投稿原稿は完全原稿とし、投稿の際にはプリントアウトした原稿（A4版）1部および原稿の入った電子媒体（フロッピーディスク、CD-R、ほか）1枚の、両方を提出するものとする。
- (4) 投稿者本人による校正作業は3回までとする。
- (5) 抜刷りは原稿1編につき50部までを無料とし、それを超える部数については投稿者の実費負担とする。

7. 著作権の帰属

『国際経営論集』に掲載された研究論文等の著作権は、著作者に属する。ただし、著作者は掲載論文等がそのままの形で電子媒体により複製され、ウェブ上に公開されることを許諾したものとする。

附則 2008年5月1日より本投稿規定を施行する。